

かまちちゃんの 映画と対話の会

映画『小さき声のカノン』上映

日時：2016年11月20日(日) 13:30～16:40 (受付 13:05～ / 開場 13:20～)
会場：仙台メディアテーク7階スタジオシアター (仙台市青葉区春日町 2-1)

『六ヶ所村ラブソディー』『ミツバチの羽音と地球の回転』など多数のドキュメンタリー作品を作られている鎌仲ひとみ監督。その作品は、観た一人一人の心に響き、全国で自主上映が多数開催されています。

その鎌仲ひとみ監督が仙台へ。今、多くの方に観て頂きたい映画です。

TIME TABLE

- 13:20 開場
- 13:30 ぶんぶんフィルムズ予告編
- 13:35 本編上映 (119分)
- 15:55 休憩 (10分)
- 16:05 「戦争の作り方」(7分) 上映
- 16:15 鎌仲ひとみ監督トーク (質疑応答)
- 16:40 終了

※18時より交流会を開催 (「かまカフェ」19:30まで 定員 20名申込み要)

別記詳細裏面をご覧ください

料金

入場料：前売り 1000円 / 当日 1200円 (小学生以下無料) *託児はございません。

定員 180名 (満席の際は当日券は販売いたしません)

お申込み

告知'S <http://kokucheese.com/event/index/426763/>





『六ヶ所村ラブソディー』『ミツバチの羽音と地球の回転』
鎌仲ひとみ監督最新作!

『小さき声のカノンー選択する人々』

はじめはみんな、
泣き虫なフツーのお母さんだった。

福島、そしてチェルノブイリ後のベラルーシ。

お母さんたちは、“希望”を選択した。

東京電力福島原発事故から4年。事故による影響は安全である、
危険であるといった議論からこぼれ落ちる声が存在している。

それは不安な気持ちを抱えたお母さんたちの声だ。

かつてチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、子ども
たちに何が起きたのか。お母さんたちはどうやって子どもを守
ろうとしたのか?

製作・配給：ぶんぶんフィルムズ／119分

鎌仲ひとみ監督 profile

早稲田大学卒業と同時にドキュメンタリー映画制作の現場へ。

文化庁の助成を受けてカナダ国立映画制作所へ。NYで市民テレビの活
動に参加した後、1995年に帰国。以来、テレビや映画の監督として作品
を作っている。

2003年完成の「ヒバクシャ世界終わりに」以来核や被ばく、原発を
テーマに自主制作で映画を作り、市民の手によって上映していただい
ている。核をめぐる3部作と「内部被ばくを生き抜く」の4作品は国内外
3000ヶ所で上映。

2015年3月7日より 新作「小さき声のカノン」が全国劇場公開。現
在、各地で自主上映会続映中。多摩美術大学非常勤講師。

公式サイト：<http://kamanaka.com/>



上映会トーク終了後は **かまカフェ** 

監督の話を聞きたい! 話したりない! 自主上映はどうやって開催するの? など、
監督と参加者との交流を深めたいと考えております。お問い合わせください

日時: 18:00~19:30 場所: メディアテーク2階会議室(定員20名)

参加費: 500円/または一品持ち寄り

*カノン上映半券をお持ちの方は無料!(お茶つき)

*マイカップをお持ちください *要お申し込み

●お問い合わせ先 ぶんぶんフィルムズ
info@kamanaka.com TEL: 03-6379-3938

◇前売りチケット取扱店

「火星の庭」

宮城県仙台市青葉区本町1-14-30-1F

Tel 022-716-5335

「ゼロ村市場」

宮城県仙台市泉区上谷刈6-11-6

Tel: 022-725-2261

「慢瑤茶(まんようちゃ)」

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉本町14

Tel: 0224-34-4218

他、取扱店さんを募集中! ご協力ください!